

平成28年度県立球陽高等学校学校評価（まとめ）

1 学校の教育目標

- (1) 校訓「進取・好学・敬愛」の具現化を図り、創造性・国際性に富んだ人材の育成をめざす。
 (2) 生徒の個性の伸長を図り、確かな学力及び規範意識を高め、高い次元での大学進学等進路実現をめざす。
 (3) 各科の特色を生かした魅力ある進学校をめざす。
 (4) 全職員のエッセンスの高揚を図り、活気ある教育活動を展開する職員の育成をめざす。

2 今年度の重点目標

- (1) 授業や語活動に意欲的・集中的・協力的に取り組む家庭学習等を着実に生徒の育成 (2) 3年間を見通した系統的・組織的な進路指導・生徒指導等の充実、(3) SSSH事業、英語立県沖縄推進事業等と連携した各学科の特色化(理数科：東京つくば研修・国際英語科：海外研修プロジェクト)、(4) 教職員の資質能力（授業力・生徒指導力・進路指導力・課題解決力）の向上及び協働体制による活気ある職場づくり

3 評価 A：達成できた(80%以上) B：ほぼ達成した(80～50%程度) C：あまり達成できなかった(50～30%程度) D：達成できなかった(30%以下)

1 教育目標	具体的目標	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	学校関係者からの評価・要望等
			A	B		
1 教育目標	創造性・国際性に富んだ人材の育成 自主・自律的な態度の育成 理数科・国際英語科の特色ある取組	生徒の個性伸長、校訓「進取・好学・敬愛」の具現化 自ら学ぶ態度と自己実現の能力の育成 SSH事業、海外研修プロジェクトの推進	A	A	A	
			B	A		
			A	A		
2 教育計画	教育目標を達成するための計画の立案 自ら学ぶ意欲と自主的・自律的な学習態度の育成	教育課程の整備、年間行事計画の策定・実施 「分かる授業」、「参加する授業」の推進、アクティブラーニングの研究	A	A	A	・「分かる授業」の評価について、何によって評価しているかが気になる。評価の基準を明確にし、歴史ある進学校として、進路指導に生かす方策を整えてほしい。
			B	B		
			A	B		
3 教科指導	基礎学力の定着と個性の伸長	日々課題・週末課題等、自学自習、家庭学習の習慣化	A	B	B	・球陽高校生には実力が1ランク上の進学先を目指す気概を持って頑張してほしい。
			B	B		
			B	B		
4 特別活動	教師の授業力向上 自主性・自律性の確立	教職員評価システムの活用と授業研究の推進 学級経営の充実 生徒会活動・部活動等、生徒の自主的活動への積極的支援	B	B	B	・生徒の希望進路実現、保護者の期待に応えらるるよう頑張っていたきたい。
			B	B		
			B	B		
5 生徒指導	基本的生活習慣の確立 交通安全教育の推進 問題行動の未然防止	遅刻指導、身なり指導の徹底と挨拶の奨励 交通安全講話の実施、登下校の安全指導 全体集会、学年朝会における指導	A	A	A	・命の大切さやいじめに関する教育は、早急に対応するよう望む。
			A	A		
			B	A		
6 進路指導	目的意識の高揚、進路の早期決定 自己実現のための学力の伸長 適切な進路情報の提供	進路講話、三者面談、進路統一HR等の実施 各種講座、放課後学習会、小論文指導の実施 家庭学習の充実、自学自習の習慣化を図る 進路日より、進路のしおりによる情報提供	A	A	A	・進学実績や生徒の活躍等が校門前に掲示され、地域の方への配慮が感じられる。
			A	A		
			B	A		
7 健康・安全指導	自他の生命を尊重し、安全で安心な学校づくり	いじめ防止、人権尊重の態度の育成 教育相談事業の充実 生徒の安全確保及び施設の安全管理	A	A	A	・生徒だけでなく保護者に対する情報提供にも力を入れる必要がある。卒業生や保護者へ十分情報提供を行い、周知を行えば、クレームは応援に変わる。保護者の意識を変える取組が必要である。
			A	A		
			B	B		
8 環境美化	学習環境の整備	清掃指導と校内施設の整備 学習環境の整備、学校の緑化	B	B	B	
			B	B		
			B	B		
9 研究研修	教職員の資質・能力の向上	外部講師を招聘した職員研修の実施 授業研究の継続と授業改善の推進	A	B	A	
			B	B		
			B	B		
10 家庭・地域社会との連携	開かれた学校づくり	PTA活動の活性化・保護者との連携強化 ホームページ等を通じた学校の情報公開	B	B	B	
			B	B		
			B	B		